

# 札幌トレセン大会報告書

2014. 9. 4

札幌4種技術委員会

( 大畑 亮太 )

<p>1、 大会名・日程 トレセン交流大会U11 札幌開催 2016年8月8日(月) 9日(火)</p>
<p>2、参加選手( )内は所属チーム U-10 Gk 茂木 克行(アスクラロ) 阿部 翔成(上野幌西) FP 大橋 唯人(アスクラロ) 鷹島 凌(フィールズ) 武澤 龍之介(セレーサ) 上ヶ嶋 柊也(SSS) 今野 眞翔(SSS) 南 人晟(石狩) 笹 脩大(アンフィニ) 根元 青陽(アンフィニ) 畑 嘉人(スポルティング) 福田 樹生(北園美香保) 渡辺 智也(開成) 内海 凌太(TIPS) 峯村 凌河(福住) 田中 瑞樹(札幌ジュニア) 井波 秀樹(中の島)</p>
<p>3、引率者名 木崎 拓也 札幌ブロックトレセンU-10 大畑 亮太 札幌ブロックトレセンU-10 古賀 亮太 札幌ブロック GK スタッフ</p>
<p>4、大会結果 1日目 小樽B 4対0 中央B 5対0 旭川B 2対2 北空知 3対0 2日目 苫小牧B 4対0 千歳B 2対1 東B 3対5 旭川B 2対2 5勝2分1負</p>
<p>5、成果と課題 成果 ・初日と比べボールを中心とした守備の中で役割が決まるようになってきた。(スライドができるようになった) ・守備で役割が決まるようになり攻撃でもバランスを意識することが増えた。 ・試合ごとではなく大会を通して生活を意識するようになった。 課題 ・少しのプレッシャーで顔が下がってしまいボールを失う場面が多かった。 ・利き足でのプレーが多く状況に応じて左右の足を使うことの意識がうすい。 ・ボールのところの守備が弱い。状況に応じて対応ができない。 ・ボールを持っている選手のプレーできる方向が狭いため関わる選手が少なくなることが多かった。 ・自分のことをもう少し自分でできるように。人として選手としての自立。</p>